

身体運動科学研究領域 履修例

学生の専攻分野・ 出身背景等(例)	総合科学部出身学生	他学部・他大学出身学生	社会人
研究テーマ(例)	高強度運動後の回復期における筋小胞体の機能変化	一過性心理的ストレスが運動スキルの行動的特徴に及ぼす影響	伝統的スポーツの革新とグローバルイノベーション
履修科目(例)	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(身体運動科学研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 身体運動生化学 身体運動神経生理学 身体運動心理学 身体運動適応学 【他領域科目】 (4) 代謝生化学 神経情報制御論 自由選択科目 (4単位) 文明共存論 生物多様性科学(環境科学入門)	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(身体運動科学研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 身体運動心理学 身体運動解析学 身体運動適応学 身体運動神経生理学 【他領域科目】 (4) 適応行動論 認知行動論 自由選択科目 (4単位) 情報システム論 科学・技術・社会論	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(身体運動科学研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 身体運動神経生理学 身体運動生化学 身体運動心理学 身体運動適応学 【他領域科目】 (4) 先端的神経細胞科学 神経情報制御論 自由選択科目 (4単位) 福祉社会論 社会動態論
教育目標(例)	身体運動強度と骨格筋機能に興味を持つ総合科学出身の学生に運動生化学に関する知識と研究方法を一層深めさせると同時に、身体運動神経生理学や身体運動適応学などの関連分野の知識を学ばせることを通じて、幅広い知識と高い研究能力を涵養する。	身体運動パフォーマンスに対する心理的プレッシャーの効果に興味を持つ他学部・他大学出身学生に対して、身体運動心理学に関する知識と研究方法を深めさせると同時に身体運動解析学や身体運動適応学などの関連分野の知識を学ばせることを通じて、幅広い知識と高い研究能力を涵養する。	ヒトの身体運動が持つ巧みさを可能にする制御機構に興味を持つ社会人に対して、身体運動神経生理学に関する知識と研究方法を深めさせると同時に身体運動生化学や身体運動心理学などの関連分野の知識を学ばせることを通じて、幅広い知識と高い研究能力を涵養する。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像(例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 博士課程後期進学者 ● 大学や研究機関におけるスポーツ科学研究者 ● 教育機関における体育指導者 ● スポーツ指導に従事する公務員(国・地方) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 博士課程後期進学者 ● 大学や研究機関におけるスポーツ科学研究者 ● 教育機関における体育指導者 ● スポーツ指導に従事する公務員(国・地方) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 営利団体におけるスポーツ指導者 ● 国際協力関係機関におけるスポーツ指導者 ● スポーツ・ジャーナリスト ● スポーツ指導に従事する公務員(国・地方) ● 教育機関における体育指導者